

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年7月27日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	砥部町教育委員会			代表者名	大江 章吾
担当者部署	学校教育課			連絡先電話番号	089-962-4820
担当者役職	主事	担当者氏名	坪内 舜	連絡先E-mail	
住所	791-2120 愛媛県砥部町宮内1369番地				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大辻 雄介
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	話がわかりやすく、臨機応変に回答をいただける。
アドバイザーへの要望事項	教育委員会の方針が定まった際に、その方針に向けて助言等をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年7月20日	支援・助言	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			14時00分	15時40分	0
				活動時間 (分)	100

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	教育委員会職員、ICT支援員	3人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	次年度に向けて遠隔授業を行う体制を整備し、自宅療養、待機者や不登校児童のケアできるようにする。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	遠隔授業についてアドバイザーの支援・助言等を活かして、様々な事由等をカバーできる体制を整備する。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	遠隔授業を整備するにあたって、方針を固めるための手法や実例等の知識をいただく。
支援を受け改善又は解決された内容	通常の授業とは異なった遠隔授業の価値、ターゲット。教員等の負荷について。

(具体的にご記入下さい)		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	不登校児ケア等の目的に対して、遠隔授業を行う手段は有効ではないということ。 予定通り次回、原案について助言等をいただく。ご助言いただいた代替案等を基に方針を固める。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は基本骨子等作成のための知識の導入として開催したため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



